

募集概要

- 募集期間：平成29年7月10日(月)～11月10日(金)
- 募集定員：15名(最大20名程度)
- 応募資格：富山県での就農を希望し、1年間通学が可能であり、卒業時点で原則45歳未満の者
- 受講料：年額118,800円(予定)
※他に教科書代、実習教材費、被服費等が必要
- 選考：平成29年12月3日(日) 作文及び面接
- 結果発表：平成29年12月22日(金)
※一次募集で定員に満たなかった場合、二次募集を実施します。

募集要項(応募書類)の入手方法

- ホームページからダウンロード URL <http://taff.or.jp/nou/college>
- 県内の市町村、県農林振興センター、農協の就農相談窓口など
- 郵送を希望される方は、とやま農業未来カレッジにお問い合わせ下さい



お問い合わせ

公益社団法人富山県農林水産公社
とやま農業未来カレッジ

〒939-8153 富山県富山市吉岡108番地
TEL 076-461-3180 FAX 076-461-3185
E-mail nouyou-college@taff.or.jp
URL <http://taff.or.jp/nou/college>

とやま農業未来カレッジ 平成30年度研修生募集



来たれ、
未来の
農業者!



- 農業を勉強したことはないが、農業をやりたい!
- 実家は農家だけど、しっかり農業の基礎を勉強したい!
- 農業法人に就職するために、実践的な技術を学びたい!



とやま農業未来カレッジについて

本県農業の担い手を育成するため、平成27年1月に県が開校した研修機関で、県から委託を受け、公益社団法人 富山県農林水産公社が運営をしています。

就農を希望する方を対象とした1年制の通年研修の他に、青年農業者の経営能力の向上を図るための短期の農業経営塾や一般農業者を対象とした公開講座を実施しています。



名誉校長 石井 隆一 富山県知事



研修生と法人経営者との交流会



国内の専門講師による公開講座



通年研修の概要

- **研修期間** 1年間（4～3月）
- **対象者** 富山県内での就農を希望し、1年間通学が可能で、卒業時点で原則45歳未満の者
- **研修内容** 通年カリキュラム：年間1,200時間以上（1日4時限×90分）

① 座学講義…21科目

栽培の基礎的知識から、生産・流通・販売にいたるまでの農業に関する幅広い基本的知識を習得します。

水稻や園芸作物等の生理生態、栽培技術、雑草や病害虫防除、農業情報活用技術、農産加工や6次産業化、環境保全型農業、GAP、農業経営、農政時事 など



② 作物実習…13作物・9農家

本県の主な農作物を栽培する先進農家や研究機関のほ場で、経営の実践や栽培技術を実習します。

主 穀 作：水稻・大麦・大豆
園芸作物：白ねぎ等露地野菜、トマト等施設野菜、りんご等果樹、チューリップ等花き など



③ 機械操作演習

農耕用大型特殊自動車免許等の資格取得やトラクタ等機械の操作・点検整備を演習します。

各種資格取得：農耕用大型特殊自動車免許、刈払機安全操作講習、富山県農業機械士 など



④ 校外カリキュラム

農家派遣研修など校外に出て、集中的な講義・実習をします。

農家派遣研修：先進農家で集中的に農作業を体験実習
夏 期 合 宿：早朝の市場視察等合宿ならではの体験
県外連携講座：日本農業経営大学校（東京）等の講座に参加



● 年間の主な行事



● 講 師

カレッジの専任指導員を始め、県の研究員・普及指導員、農業高校教員、先進農家、大学関係者、農業機械・ICT等の専門家等充実した講師陣が指導します。



進路指導・卒業後の支援

● 就農相談・進路指導

青年農業者等育成センター等と連携して、就農に向けた相談や就農に関する各種情報の提供を行うほか、就農計画の作成など卒業後の進路について個別指導を行います。

● 就農準備等のサポート

自営就農を目指す研修生には、就農計画に基づく機械・施設の整備や制度資金の活用、農地のあっせん、住宅の確保など、県農林振興センターや県農林水産公社、市町村と連携して支援します。

法人等への就職を目指す研修生には、円滑に就農できるよう、農業関係団体等の協力も得ながら就職先の紹介やマッチング交流会などを実施します。

さらに専門的知識、技術の習得を目指す研修生には、先進農家を始め、日本農業経営大学校、県農林水産総合技術センター、中央農業高校専攻科等の連携先での研修など、目的に応じた研修先を斡旋します。

※ 農業次世代人材投資資金（準備型）

国の農業次世代人材投資資金（準備型）制度の対象となるカリキュラムを備えており、一定の要件を満たせば、年間150万円の受給も可能です。カレッジでは関係機関と連携して申請手を支援します。